

<自己評価1回目> ※黄色のセルをすべて記入してください。

項番	1	総事業 項目数	1
----	---	------------	---

整理番号	2025P-	053	補助事業者名	一般社団法人HOKKAIDO EVENTS	事業項目名	UCI GFWS ニセコクラシック2025
------	--------	-----	--------	--------------------------	-------	-----------------------

## 別紙 JKA補助事業 2025年度 事前計画／自己評価書(4/5)

### 5. 補助事業の自己評価

作成日	2025	年	3	月	25	日	作成者	前田和輝
-----	------	---	---	---	----	---	-----	------

#### (a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画／自己評価書(3/5 ①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					
(1) 受益者 (ニーズ)	(直接的受益者)・ニセコクラシック2025参加者数は、2026年世界大会への期待感もあり、昨年度比25%増の1,414名。結果、地域の交流人口が増加し、観光事業者のニーズに応えるとともに、参加者にも昨年以上の熱戦を提供することができた。 (間接的受益者)・来場者、関係者、沿道応援者にレベルの高いレースを見てもらうことで、自転車競技振興に繋げることができた。 (ニーズ)・地域経済活性化や地域再興に向けて、レース開催を通じて開催地の各自治体の食・自然などの魅力を来場者の方々に堪能してもらうことができた。			採点	5
(2) 事業内容	UCI Gran Fondo World Series(UCI GFWS)のブランドを持つアマチュアロードレース大会。UCI規則に則り、140kmロードレース・80kmロードレースの2区分、個人タイムトライアルレースに加え、団体別チームリレーを新設しUCIグランフォンドワールドチャンピオンシップスと同じ3種目での開催。本大会で上位25%に入賞した競技者は決勝大会(2025年度決勝はオーストラリア:ローン)への出場権を得ることが可能となる。 ○開催日程: 2025年6月12日(木)参加者受付			採点	5
事業の新規性または継続の必要性	は、翌年に控える2026UCIグランフォンド・ワールドチャンピオンシップのプレ大会という位置づけで、世界大会基準の全競技を盛り込んで大規模に開催された。公式種目として、ロードレース、2年ぶりの開催となるタイムトライアル、国内初開催のチームリレーを開催、さらに後志地域の食・自然などの魅力を体感できるファンライドイベントを開催した。結果、多くの参加者を惹きつけ、前年度比25%増のエントリーを得た。夏の観光需要が落ち込みがちな当地域において、本大会は夏になくはないイベントとして、多くの観光事業者から賛同を得るとともに、関連自治体・警察からも、自転車活用方策や自転車環境整備に関するヒアリングを受ける機会も増えるなど、官民からの期待も日に日に大きくなっている。これらの成果は12年に渡って大会を継続してきた結果であると考えている。今後も本大会を継続し、自転車業界・参加者・地域事業者、地域住民に還元していきたい。			採点	5
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点	
実施計画・体制	事業実施体制:(一社)HOKKAIDO EVENTS事務局構成 代表理事:今野一彦(行政調整)/事務局長:前田和輝(許可申請、競技連盟調整)/総務担当:長尾有希子、星川和彦(総務、経理管理)/行政担当:大澤純(行政調整、許可申請、警察対応補佐)/営業担当/本松翔平(協賛社営業、協力団体フォローアップ)/広報担当:伊藤真琴・東大貴(プロモーション、マーケティング活動、大会実施報告)/インバウンド担当:Ben Kerr(訪日外国人フォローアップ)/星川和章(税理士事務所:星川和章(会計管理)/司法書士法人ミナカムイ・吉田聡(法人監査)/北海道自転車競技連盟・勝見洋一(競技運営管理) チャンピオンシップ開催に向け協賛営業担当を加え、事務局体制を強化。協賛増金の増額を達成。			採点	5
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]	採点
	事業の成果・波及	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]	採点
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]	採点
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]	採点
(5) 自己評価の体制	①評価の実施体制:大会終了後の実行委員会において、大会会長(倶知安町長)を中心に関連町観光課(倶知安町、共和町、蘭越町、ニセコ町)、北海道後志総合振興局環境生活課、北海道警察、日本自転車競技連盟、宿泊事業者、協力団体より総評を頂いた。②評価の具体的な方法、手順/実行委員会開催、競技運営情報交換会、スタッフヒアリング会、警察への報告、宿泊事業者へのヒアリングを行い、評価(ご意見、改善項目等)を頂いた。③自己評価結果の公表方法/大会レポートをまとめ関係者へ配布説明し、来年度への協力を依頼した。			採点	4

#### (b) 総合評価

総合 評価点	4
-----------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画(2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	2025年プレ大会、2026年世界大会、2027年レガシー大会を1セットとして開催することで、これまで以上に大会および地域のブランド価値を向上させ、サイクルツーリズムによる「冬季～夏季の観光需要平準化」を目指し、本大会は開催された。本事業は単年開催にとどまらず、継続的な国際大会の実施を通じて、通年型リゾート地としての確立を推進するものである。 コロナ禍以降、物価高騰に伴い参加料も年々上がっているが、2025年本大会は1,400名を超える参加エントリー、協賛金の増額を達成したことは、参加者・地域事業者・自転車業界から世界大会へ期待されていることがうかがえる。また、安全対策の強化や運営体制の整備を進めることで、国際大会に相応しい環境づくりを着実に進めた。2026年大会では、海外選手・関係者を含め3,000名以上が当地を訪れるこれまでで最大規模での開催となる。これにより、宿泊・飲食・交通・観光分野への波及効果が見込まれ、地域経済への貢献は一層拡大することが期待される。長期滞在の促進や地域観光との連携を強化し、大会を契機とした持続的な地域活性化へとつなげていきたい。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	優れている点・・・大会および地域のブランド価値が高く、日本全国から参加者が集った。ニセコエリア夏季における重要なイベントとして位置づけられており、レース参加に伴う、長期滞在者や観光など地域経済へ高い波及効果を示した。また交通規制など安全開催を重要視している運営体制は、警察・行政からも一定の評価を得ており、2025年大会においては、大きなトラブルもなく終了している。 課題・・・海外参加者への対応の増加、物価高騰によるコスト増による大会運営の収支、補助金依存度のさらなる改善 改善すべき点・・・海外参加者向け情報発信の強化。また収支改善に向け広告代理店を活用し、2026年チャンピオンシップをフックにさらなる協賛社獲得を目指す。運営効率化によってコスト削減に努めたい。地域観光協会などと連携強化し、地域イベントと共同で開催するなどして、運営コストを下げたい。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	ニセコクラシックが開催12年目を迎え、現在ではニセコエリアの夏季の重要なイベントに位置づけられている。交流人口増加による地域経済への波及効果に加え、ニセコクラシックの成功をきっかけに官民連携による自転車活用推進の取り組みも進み、自転車の安全な利用促進につながる道路環境整備も検討されている。さらに、その他の自転車ロードレースイベントや自然を駆けるニセコグラベルの開催、非営利団体やリゾート運営会社によるマウンテンバイクパークの開発・整備など、本事業をきっかけとして当エリアにおける自転車と地域住民・事業者のかかわりはますます広がっている。

#### 【事業費】

整理番号	2025P-	053	補助事業者名	一般社団法人HOKKAIDO EVENTS	事業項目名	UCI GFWS ニセコクラシック2025
------	--------	-----	--------	--------------------------	-------	-----------------------

## 別紙 JKA補助事業 2025年度 事前計画／自己評価書(5／5)

### (c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)～(15)の「促進」または「阻害」欄に「\*」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)～(15)を付して、具体的にご記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「\*」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析					
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容	b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部 要因		*	(1) 経費		
	*		(2) 実施体制 (人員、関係機関 の協力等の確保)		
			(3) 資材調達 (事業実施に必要な 物資等の確保)		
			(4) 実施期間 (事業終了までに 要する期間)		
			(5) 事業運営のノウ ハウ(進捗管理、 資金管理等)		
			(6) 設計仕様の 変更(主に建築)		
			(7) その他		
外部 要因	*		(8) 受益者の 規模・ニーズ	(8) 受益者の規模・ニーズ 2025年から2026年にかけて2年間で大会および地域を一体的に盛り上げていく方針について、地域観光事業者の賛同を得たことで協賛金の増額につながった。結果として、参加者数の増加により、大会週にかけて開催地を多くの人を訪れ、地域観光事業者への波及効果が生まれ、期待に応えることができた。	
			(9) 実施体制以外 の団体等の協 力・支援		
			(10) 関連法制度 の変更		
			(11) 利害関係者 (受益者以外)の 要望への対応		
			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術 開発		
			(14) 競合するサー ビス・事業の出現		
			(15) その他		
		(16) 特になし			

【事業費】